

下妻市の発展のために、
これまで行われてきた取り組み！

SHIMOTSUMA DESIGN MEETING

2020.07.10 Vol.1 ゲスト：入江智子氏

下妻デザイン
ミーティング2020

新たなライフスタイルのデザイン方法を学ぶ

記念すべき第1回は、「どこでどのようなことをやりたいか」について話し合うグループワークを実施。多くのメンバーが砂沼をお気に入りの場所に挙げ、砂沼を中心としたまちづくり構想が方向づけられました。

2020.10.03 Vol.2 ゲスト：中山拓郎氏

まちを歩き、下妻のエリアビジョンを作る

砂沼で何をテーマにエリア再生をしていくのか。テーマ決定のヒントを探すためにまち歩きを実施。砂沼周辺をくまなく散策したうえで意見交換から、農業・食・健康・環境・教育などのキーワードが出されました。



2020.11.27 Vol.3 ゲスト：岡崎正信氏

エリアビジョンを実現するアイデアを考える

思い描くビジョンを実現するための具体的な「事業」について深掘り。お手本となる事例についての講演を聞いた後、市民・行政双方からの事業プレゼンを実施。新しい下妻ライフをつくりだすための具体事業が提案されました。

2021.01.29 Vol.4 ゲスト：町田誠氏

アイデアを共有し、実行することを決める

これまでのプロセスをふまえ、目指すべき未来のビジョンの構想案を市民・行政の双方がプレゼン。公民連携による砂沼戦略のアウトラインが見えてきました。これまで全4回のミーティングには、延べ123名が参加しました。

下妻デザイン
ミーティング2021

2021.07.17 Vol.5 ゲスト：本郷純一氏

公共空間で事業を作り、暮らしを変える

2020年の活動から導き出された新しい下妻ライフを「構想」から「実現」へ進めるフェーズに突入！現在下妻市に足りないものは何かを掘り下げ、構想を実現させるための事業についてのディスカッションなどをおこないました。

2021.10.09 Vol.6 ゲスト：若本唯史氏

砂沼周辺を歩き、魅力や資源を再発見し、実現したい下妻ライフを提案する

昨年度に続き、砂沼周辺のまち歩きワークショップを実施。同日に観桜苑で開催されたイベント「SANUMA LOOP」とのコラボ企画でもあり、砂沼戦略に共感するメンバーが多数参加し、講演にも熱心に耳を傾けていました。



2022.02.05 Vol.7 ゲスト：打谷直樹氏

欲しい暮らしと 街の未来は 自分たちの手で創る

申込みフォーム
詳細・申し込みはコチラ！



みんなで創ろう！

未来の

SHIMOTSUMA LIFE

- シモツマライフ -

巻頭特集

公民連携の
まちづくり

新しい下妻ライフを考え、実現することをめざして始動した「SHIMOTSUMA DESIGN MEETING」。市民が思い描く未来の下妻はどんな姿なのか？ミーティングから生まれた新たなまちづくり構想「砂沼戦略」とは何か？公民連携によって鋭意進行中のまちづくりプロジェクトをご紹介します。



なりゆき任せにしない、
持続可能なまちづくりを

少子高齢化や若年層の都市圏への流出などによる人口減少は、多くの地方都市が逃れられない現象です。下妻市も例外ではなく、このままでは地域の活気が失われていくのは明白。そこで、未来をなりゆきに任せるのではなく、地域の資源をいかして魅力あるまちづくりを進めるために立ち上げられたのが「SHIMOTSUMA DESIGN MEETING」です。

下妻市は2018年度に国交省より地方再生のモデル都市に選定され、砂沼の親水空間や市街地の空き店舗などの既存ストック、そしてスポーツをまちづくりの手段として活用する取り組みをはじめていました。「より良いかたちで未来に繋げるためには、国の支援を受けての行政主導のまちづくり事業だけでは限界。高い志を持つ事業者や市民の皆さまと力を合わせて新しい下妻ライフを実現するため、超一流の実践者を招いたミーティングを企画しました」と、下妻市役所の井上さん。民間の発想力や行動力と行政の資産を掛け合わせた、公民連携のまちづくりプロジェクトはこうしてスタートしました。

地元有志の想いを紡ぎ
砂沼を中心とした構想を策定

昨年度4回にわたって開催されたミーティングには、組織や所属にとらわれず、新しい下妻ライフの創造への志を持つ、まさに「有志」が参加。まちづくりや公民

して通り過ぎるだけでなく、ワークシヨップで学んだり、ヨガやSUPで楽しく汗を流したり、お茶や軽食を楽しんだり。砂沼に憩いの空間をつくりだし、サードプレイスへと導くための仕掛けが散りばめられていました。

「今まで観桜苑に来ていなかった若者や女性がたくさん来ました。これまでのように補助金ありきの事業では、行政の都合が足かせとなって、民間ならではの豊かな発想がしぼんでしまったと思います。」と、民間主導のイベントに手応えを感じる染野さん。ミーティングはさらに内容をブラッシュアップさせ、今年度引き継がれています。砂沼戦略のコンセプトは、職・住・遊・

連携事業のプロフェッショナルを毎回ゲスト講師に迎え、学びと意見交換を重ねながらアイデアを練りあげていきました。

そこから生まれたのが、下妻市の誇る地域資源である砂沼を中心としたまちづくり構想「砂沼戦略」です。活用できる可能性のある公用地として、小貝川ふれあい公園や市役所周辺エリアなども挙げられましたが、大多数の人が選んだのは砂沼。「下妻で暮らす人たちにとって砂沼はやはり特別な愛着がある場所。心の原風景なのだと感じました」と井上さん。その後、まちあるきや事業計画の作成・プレゼンなどをおこない、砂沼周辺の水辺空間をいかして民間主導で豊かな暮らしをつくりあげられる構想が形づくられていきました。

井上さんとともに活動する染野さんがとくに印象に残っていると振り返るのは、第3回目のミーティングです。「若手で実際に公民連携での地域創生を実現させた、ゲスト講師の岡崎正信さんのお話しはとても勉強になりました。ベンチの配置ひとつで居心地のよさを高める景観デザインや、公民のあり方、共創する意義など。メンバーの皆さんの意識も、より高まったと感じました」

魅力ある暮らしをめざして
活動の輪はさらに広がる

10月9日に砂沼の観桜苑で開催された「SANUMA LOOP」は、砂沼戦略を実行に移す第一歩となる企画です。イベントを主催したのは、砂沼戦略の実働チームとして結成された「マジ☆みんなこれ」。散歩を

学が近接するまちで砂沼と暮らす憧れのライフスタイル。地元、自分たちの手で、魅力ある暮らしをつくりだすことへ共感や興味を抱いた人が集うプラットフォームも動き出しました。みなさんもぜひ参加してみませんか？



Information

下妻市公民連携まちづくり 砂沼戦略プラットフォーム

「砂沼戦略」の主旨にご賛同いただき、「食」「遊び」「学び」「しごと」など下妻らしい暮らしに少しでも関心のある方であれば、個人・法人に関わらず無料で参加できます。



下妻市まちメディア(SNS)

下妻らしい豊かな暮らしを実現・実践している人やコトを中心にお知らせし、下妻市公民連携まちづくり構想砂沼戦略に基づき、地域経済循環や新しい下妻ライフの創造に寄与する目的としています。



下妻市役所
建設部 都市整備課
染野 早紀さん



下妻市役所
建設部 都市整備課
井上 規さん

当事業は民間主導、行政バックアップの「民公連携」という今までとは異なる形で開催しております。「今こそ民間側がやるぞ」という志が集まったメンバーがそれぞれの特技を持ち寄り活動しております。街のにぎわいが日常化し、心地よい空間で豊かな暮らしができる街づくりを民間主導で進めていきたいと思っています。

まちづくり実行委員会公民連携チーム
「マジ☆みんなこれ」委員長
飛田 正樹さん

